

飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 令和元年6月7日(金)午後3時30分～4時50分
○開催場所 飯山市公民館101会議室
○参集者 委員(敬称略): 吉越隆師 上海一徳 廣靖彦 森崎鉄兵 丸山公人
※3名欠席
市側: 長瀬哲(教育長) 常田新司(文化振興部長) 佐藤千明(美術館長)
井端伸介(美術館係長) 木村友子(美術館職員)

- 1 開 会
2 辞令交付 長瀬教育長から委員5名に辞令交付

3 あいさつ

教育長: 年間2回の会議だが、美術館にとって大事な会議。委員の皆様にご審議をお願いしたい。
佐藤武造さんの実家から佐藤武造の作品16点を寄贈していただくことになった。寄付採納審査委員会で正式に決まったら市民にもお知らせしたい。令和4年に佐藤武造さんが亡くなって50年になるということで特別展を開催することになると思う。そこで一挙に公開したいと思っているが、皆さまのお力添えをお願いしたい。
飯山の仁王門の件で、飯山でもっと評価して前面に出さなければいけない作家、滝澤天友さんなどがいらっしゃる。これも是非、寺瀬黙山さんと系列の人を集めた特別展を出来たらと考えている。上海さんのお力添えをいただきながら行いたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
いずれにしても、美術愛好家の皆さんが美術館にしばしば足を運んでいただけるような美術館であってほしいと思う。

- 4 自己紹介 出席委員5名それぞれから自己紹介
5 会長選出 会長として廣靖彦委員、会長職務代理として丸山公人委員に全会一致で決定
6 会長、会長職務代理あいさつ

会 長: 15年ほど前にこちらに移住してきた。どれだけのことが出来るかわからないが皆様にご指導いただきながら引き受けさせていただく。

昨日、テレビを見ていたらストリートピアノといって学校が廃校などになってピアノが余っているのを駅や公民館など人が集まるところに置いてある。市民がときどき弾いて、その後ろで若い人からお年寄りまで聴いている。すごくいい雰囲気、音楽の文化のためには、良いことだと思った。

美術もそんなことが出来ないかと思ったが、なかなか音楽と美術は違って、灯籠まつりを見ている、最近新しいものが出て来にくい。ダンスの方は年齢を問わず、今年もいっぱい出演団体の時間を縮めなければならぬくらい希望者がある。音楽と違って美術は難しいことも多いと思うが、美術館が身近になるようにしていけたらと思う。わからないことも多いがいろいろ教えていただきたい。

会長職務代理: 今回初めて委員になった。芸術文化協会では日本画をやっており、吉越先生に教えてもらっている。このような大役を仰せつかって出来るかどうかわからないが、会長の代

理ということなので頑張りたいと思う。

7 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

(1) 平成30年度事業について（報告）

事務局：（次第と資料のとおり説明）

会長： 常設展示、企画展、美術教室など、とても良い内容だと思うが、カンディンスキーなど、抽象絵画というのは理解されにくいものだと思う。

問題はどうかやってたくさん招き入れるかということ。例えば、iネットなどもっと使えないかと思う。もう少し人が入ってくれた方がよい。

委員： 他の分野でもそうだが、社会に還元するようなことに取り組むのは、どちらかという年齢の高い方が多い。いわゆる働き盛りの中心の世代は、今の仕事と生活以外に手を出さない。学校ではそういうものに親しむ余裕がない。それを社会的に見たとき、受け取っていただくのは美術館だということになる。ところが、実態は公民館の方が活発にやっている。公民館でやっていることを、今度は美術館のレベルでやや専門的にやられたらどうかと思う。

会長： 美術館に入った階段右上にギャラリーという場所があるが、画廊的に一般開放できないかと思ったことがある。受付の位置などの都合で難しいと思うが。

(2) 平成31年度事業計画について

事務局：（次第と資料のとおり説明）

委員： 五郷研修館はどこにあるのか。

事務局： 大川区の集落の入口付近にある。

委員： LED化をするとのことだが、どれくらい電気代の差がでるのか。

事務局： 計算上では、蛍光灯が3分の1、スポットライトが5分の1程度の電気代になるようである。LED化することによって電気代は3分の1以下になると思われる。

委員： LED化にはいくらかかるのか。

事務局： 器具の価格は様々。博物館・美術館用専門の器具だと大変な金額になってしまう。今回のLED化では一般的な器具を使用したLED化で、美術館と伝統産業会館全体で約300万円かけて行う。

会長： LEDとそうでないものと作品を見るときに違いはあるのか。

事務局： LEDは白っぽい光から黄色っぽい光まで、さまざまな段階のものを選べるようになっている。光が白すぎると味気ない感じになってしまうが、黄色味が強すぎても本来の色を損ねてしまうので、その中間くらいのLEDを選択した。

(3) 令和2年度以降の企画展等の予定について

事務局：（次第と資料のとおり説明）

委員： 阿部委員が来ていればお願いしたいと思ったことで、令和3年に和紙作家の展示会があるが、飯山に関係がある和紙のこと。阿部さんのところで作っている内山紙は伝統工芸品として名を売っている。企画展と何かセットで考えることは出来ないものか。

事務局： 以前、信濃毎日新聞に阿部さんが大きく紹介されている記事を見た。内山紙で作られたクラッチバッグを開発したという内容だった。かなり前には「ちくま」というランプシェ

ードも開発されて賞を取っていたと思う。森田さんの作品と同じ場所に飾るとするのは難しいと思うが、現在の内山紙の展示のコーナーに展示していただければと思う。

会 長： 美濃のあかりのイベントの展示を見に行ったことがある。森田さんの展示のときに、部屋は違ったとしてもコラボして一緒にできるというのは相談されると良いと思う。さらに出来たら、灯籠まつりのときに人形館で展示をしている平田さんも作家的にやっておられるので、何人かそういう人を探してはどうか。

事務局： 阿部さんだけでなく、阿部さんのところで修行をされた平田さんにも発表してもらえればと考える。

委 員： 現在、美術館の2階に仏壇と和紙の展示がある。ときどき見に行くが、和紙の方はまったくそのまま一つも作品が変わっていない。和紙は色が変わったり、よじれたりしていてあまりにもさびしい感じがする。何か考えられないのか。

そして隣にある手漉き和紙体験工房もかなりのことが出来ると思うので、継続した発表会などやってもらいたい。まだ3年先の話しだからこれから考えてもらいたい。

委 員： 入館者に関して、最近、外国人の入館状況はどうか。

事務局： 去年から急に入館される方の数が増えた印象はある。2年位前からスキーに来られる方が増えて足をのぼしたり、スキーの合間にとという方が増えたのだと思われる。

あと、伝統工芸品を買いに来る外国人が増えた。スマホを見ながらこれがほしいというお客さんもいる。

教育長： 伝統工芸品は何が一番買われているのか。

事務局： 鎌や包丁などの刃物が多い。鉈（なた）がないか聞かれることもある。

会 長： 灯籠まつりでも最近、外国人の方が増えたから説明は誰がするのか、どんなパンフをつくるのかなど、ある程度考えなくてはと話が出ている。

事務局： 御朱印帳はないかという方も多い。

委 員： 外国人の方に対して音声ガイドというのは考えられないか。皆さんスマホを持っているので、そういったものを活用しながら簡便なシステムがあれば良いのだが。本格的なものは器具を用意するなど大変である。

事務局： すぐにとはいかないが、今後、どういったものがあるのか調べていきたい。すごく予算のかかるものとの思い込みがあったが、今、簡便なタイプというお話があり、スマホと連動してできるようなものがあればと思う。

会 長： この美術館は新幹線の駅から歩いてこれる場所ということになる。灯籠まつりでは城門のところまで飾っているが乗り物なしでは遠い。これからも良いアイデアがあれば、出来ることは是非やってもらいたい。

(4) その他 ※特になし

8 その他 ※特になし

9 閉 会

館 長： 和紙のことなどいろいろアイデアをいただいた。事務局の方でも検討を重ね、また、この運営協議会にご相談申し上げながら進めていければと思う。本日はありがとうございました。